

中里小学校 学校だより

# おおくす

令和6年6月19日

第4号

文責 大石泰文

学校教育目標：夢をもち、みんなと共に生きる子どもの育成～中里仲良し(共に学び、共に育つ)～

## 気持ちの良い挨拶を

朝、必ず校長室の入り口に立って「校長先生、おはようございます!」と礼をしながら挨拶をしてくれる4年生の子がいます。また、下校時はたくさんの6年生が、同じように入り口に立って「校長先生、さようなら!」と挨拶をしてくれます。気持ちを込めて挨拶されると本当に清々しい気持ちになります。



そして、図書ボランティア「お話ポッケ」の松村様からは、登校中の低学年の子どもたちが元気に挨拶をしてくれました!というお言葉をいただきました。校外での子どもたちの様子を褒められて大変嬉しくなりました。

挨拶というのは、本当に不思議なものです。毎日、横断歩道のところに立っていると、挨拶だけでその子の体調も何となく分かってきます。日々、多くの子どもたちと挨拶をしながら、できれば小学生の間に「気持ち良く挨拶する力」を身に付けさせたい、と思います。それがその子にとって生きる力のひとつになることは間違いないからです。そんなことを考えていたら、次のような挨拶についての「名言」を見つけました。

「誰が考え出したのでもない私たちの遠い祖先から伝わってきたこのあいさつというものは、いわばお互いの毎日のくらしの潤滑油とでもいった、尊いはたらきを果たしているのである。」(松下幸之助)

「人に好感を持たれたければ、誰に対しても挨拶をすることだ。挨拶ほど簡単でたやすいコミュニケーション方法はない。」(デール・カーネギー)

これから長い人生を生きる子どもたちのために、挨拶の大切さをご家庭でも話題にしていただければと思います。

## 創立150周年の取組

150周年という節目を記念して、これまでの中里小学校の歴史を振り返り感謝するとともに、新たな歩みへの機運の醸成を図り、この節目をお祝いする、という目的で様々な催し等を計画・推進しているところです。

各取組を推進するために、4月のPTA総会后、PTA執行部の皆様と「創立150周年記念事業実行委員会」を立ち上げました。実行委員長には木下祐希様が立候補していただき、早速、式典やイベントの準備を進めていただいております。また、「150周年記念誌編集委員会」の編集委員長は、お話ポツケの代表である中川晃子さんが引き受けて下さりました。皆様、大変お忙しい中のご協力本当に有難うございます！

### 記念式典について

- (1) 日時 令和6年11月15日(金) 14:05~14:50(45分)
- (2) 場所 中里小学校 体育館
- (3) 内容 来賓祝辞や記念品紹介、中里小のあゆみの児童発表等を予定しています。
- (4) 参加者 【予定】来賓、PTA、教職員、児童(全学年)



### 児童の取組について

1・2年生は生活科で、中里小学校発祥の地「東漸寺」とつながる活動を積極的に行っています。(遊びや町たんけん等)

3年生は国語科で俳句を150句創作し、コンテストに応募する取組を行いました。4年生は社会科で三川内焼き絵付け体験を行い「150」をデザインの中に入れる計画です。

5・6年生は総合的な学習の時間にふるさと中里や中里小の歴史を調べてスライド等にまとめる予定です。



### PTA イベントについて

150周年ということで、楽しいイベントをPTAにて企画中です。

### 記念誌について

アルバムのような親しみやすい内容で、6年生が卒業するまでに配付予定です。

### その他

航空写真や全員配付の記念品を検討中です。